

パク・ジ・ヨンさんと私 (マイペースな人)

F 班 (秋) 名前 松山磨理

1. 第一印象

1. 1 初めて会話したときから明るい雰囲気でした。韓国の人と話したことはなかったので不安でしたが日本語が全く普通に話せるので安心しました。留学してまだ数か月というのが信じられないくらいでした。

散歩の計画をたてる授業で晴れと雨の2パターンの紙を書くとき、先に書いた紙を下にしてなぞって書いていたので、効率がいい・面倒くさがり(?)なのかなと思いました。

散歩のときは基本的に名取くんがスマホで道を見ながら先頭を走って道案内していましたがいつの間にか違う方向へ行っていたり、また和カフェに行ったときに注文したパフェを「おいしくない」と名取くんにあげていたので、マイペース・気まぐれという印象を受けました。お寺に行ったとき、お地蔵様を見て「気持ち悪い」と言っていたのでかなり正直だなと思いました。しかも鍵のかかっている寺の境内へ(扉をガタガタやりながら)入ろうとしていたので「自由奔放」に感じました(急いで止めました・・・)。その後週末にお地蔵様に謝罪して寺の人に境内へ入れてもらったそうです(行動的!!)

1.2 印象の訂正+追加

「マイペース」は本人に思いつき否定されました。根拠になるようなエピソードはありませんでしたが・・・。「面倒くさい」が口癖なほど面倒くさがりだそうです。パフェはおいしくなかったのではなく甘すぎたうえに、名取君が「おいしそう」と言っていたからあげたそうです。地蔵のことは「全面的に反省」と言っていました(お地蔵さんの悪口を言った週末転んだりしたそうです)。行動的なのは本当だそうで「じっとしているのはあまり好きじゃない」という発言や、「学校で友達に誘われてゲームがどうしてもしたくて授業を抜け出した」というエピソードからもかなりの行動派だとわかりました。(ゲームのために授業を抜け出すのはマイペースではないのか・・・?)

2. 特に聞きたいテーマ: 何に情熱を注ぐのか?

特に好きなものなどを聞いていくうちに、「熱しやすく冷めやすい」タイプのように、長期間ずっと好きなもの・ことがあまりないようだったので、これからの会話の中でそういったもの・ことがないか探そうと思いました。

ただ、ものや趣味ではありませんが自分の印象についてはっきり訂正することから「アイデンティティー」はかなり大事にしてるんじゃないかと思います。また、「ホラー映画をあえて夜中の2時に見る」ということなどから「物事を精一杯楽しむ」ように感じました。

情熱を注ぐものが見つかったらテーマを変更するかもしれません。

その後の話で最終テーマは「思い出と恋愛」になりました。テーマ変更のいきさつは次

の3で書きます。

3. 話し合いの結果

3. 1 6月6日の話し合い

この時はいつもの一階の教室で話しました。この時点でのテーマは「何に情熱を注ぐのか？」だったので、特定の事柄ではなくとりあえず「長期間続けたこと」や「好きなこと」は何かをいろいろ聞きました。スポーツはだいたい好きみたいで、今はレジャーサークルに所属しているそうです。活動内容を聞いてみたらバスケットボール・ドッジボール・キックベースなどの大人数で楽しんでやるスポーツがメインでした。(1人よりも大勢の方が好きだそうです)。

スポーツ以外では、料理と日本語の勉強が長続きしていると言っていました。料理は人に食べてもらったとき、褒められたことが嬉しくてやるようになったそうです。ただ、(私もそうですが)やっぱり1人で作るのは面倒くさいらしく、友達と作るのが楽しいようです。日本語の勉強は大学で(第二外国語の勉強として)日本語を選択したのがきっかけですが、「日本語がうまい」と人に言われて(本人がいうには初めて褒められたらしい?)続けることにしたと言っていました。3か月で日本語検定の2級、その半年後には1級をとったそうです。いずれの場合も「人に褒められると続けられる」という点で日本語と料理に共通でした。

また、私自身が「思い出関係(手紙とか日記とか、特に写真を撮ること)が好き」という話をしたところから始まったのですが、ジ・ヨンさんも「小学校1年生から5年間日記を書いていた」(日記が長続きしている)ということで、「思い出」を大切にしていることが分かりました。日記はやめてしまったそうですが今はスケジュール帳にこまめにその日あったことを書いているそうです。実際見せてもらいましたが、日本に来た日の欄からびっちり書かれていました。今まで撮ったプリクラや人にもらった手紙もとってあるそうです。私ももらった手紙や日記はとっておく点で共通だったので、この時点でテーマは「思い出」にしようと考えていました。

「手紙って誰からの？」と聞いたら「彼氏から」と答えたのでそのあと恋愛の話になりました。韓国にいる彼氏とは毎日電話しているらしく、私は頻繁に家に電話している方ですがそれでも週に1, 2回程度なので個人的にはびっくりしました。昔、カッコいい男の子がバドミントンをやっているところを見るために自習を抜け出したというエピソードなどから「恋愛」も大事なんだなと思いこの日の話の最後にテーマを「思い出と恋愛」にしよう決めました。

3. 2 6月20日の話し合い

この日は図書館と学生支援センターの間をつなぐ連絡通路で一緒に自販機で買った飲み物を飲みながら話しました。テーマが思い出だったので最初は「今までで一番の思い出は？」と聞くところからでした。答えが「初めて好きな人に告白されたとき」というものだった

ので思い出というより恋愛の話になりました。もともと好きだった人と両思いになることはあまりないらしく、今まで交際した人たちは2人を除いて1か月くらいで分かれてしまったそうなのでその2人の話を主に聞きました。

バレンタインでは「バイトがあるから無理」と言っておいてこっそり手作りチョコを2時間かけてソウルに届けたそうです。私もそうですがサプライズが好きみたいです。私の場合はよく人の誕生日にプレゼントを買い忘れたふりをして渡したりしていました。でも、「手作りは疲れたからもうやらない」と言っていました（やっぱり面倒くさがり・・・）。今度はサプライズとして手作りのキャラ弁（しかも3段全部「進撃の巨人」のやつ）をやりたいと言っていました。かわいいキャラクターのものは食べられたくないそうです。（女の子らしいとか何というか・・・）。最後の5分くらいで「話してみる？」と言って彼氏に電話をかけ始めたときはびっくりしました。実際に電話で話しましたが、日本語で「私はかわいいジ・ヨンの彼氏です」と言って（というか言わされて）いました。

やっぱり急に電話かけたりするあたりマイペースだなと思います。本人は否定していますが。

4. まとめ

一番の思い出としてあげたことなどから、「恋愛」は彼女の中で大きなものだと思います。（面倒くさがりなのに）手作りをしたりするという事は、好きな人の存在が行動力のもとにもなっているのかなと感じました。ジ・ヨンさんは面倒くさがりではあっても、好きな人や友達や好きなことには一生懸命になれる人です。自分は彼女ほど行動的ではないので少し憧れます。

5. 授業を終えて

5. 1 文化、コミュニケーションとは何か

文化は人の周りの環境を作るものではあっても、その人自身を直接作るわけではないと思いました。その人自身を作るのはその人の経験だと思います。実際ジ・ヨンさんに共感できることはたくさんあったし、共感できないところはどちらかというと文化でなく経験の違いによるものだったからです。

コミュニケーションは互いに互いを知るためのものだと思います。コミュニケーションにはいろいろな方法がありますが、相手を知るという意味ではやっぱり直接話すのが一番だと感じました。

5. 2 授業について

インタビューの時、テーマを決めるのに苦労しましたが、4人のグループを作ってローテーションでインタビューをするというのは2人でお互いにインタビューするよりも面白かったと思います。この講義を選択してよかったです！